

つばさ川柳 願法みつる編 (142号)

『自由句』

連休でマナコ開けば大自然

蜂巢 徹

富士山だ芝桜だと人が寄り

日本中ナニヤラ富士のご同輩

卒寿にもなつて身辺片付かず

藤沼 智弘

負け犬もぐずぐず生きて早卒寿

テロテロと遠くに聞いている平和

高安よ一気に綱を引きつける

堀内今一步

就活へ喪服で野望包み込み

嗜みを忘れ女子アナ大笑い

介護度5日々筋トレで妻の世話

若松 靖夫

在日米軍狙われるまず三沢

一強は逃げ答弁で成立し

傘寿過ぎ捨てる文化に追いつけず

岩崎 篤子

肝胆を照らした人は皆鬼籍

自転車の三列が行く道の巾

胸痛む知人の訃報矢継早

佐原 利幸

銘酒買い試飲だけなら安くなる

淡い夢ばかりを盃で舐めている

金婚を目指して今日もウォーキング

末田 洋一

ゆっくりと歩くとヒント落ちている

やけ酒の後も寂しい帰り道

彼の人も恍惚人かうら悲し

田所 健

ハイキング掛け声だけが歩き出し

八十路過ぎ戴くものは天寿のみ

さて次は豊洲か築地待ったなし

谷井 修平

儘ならぬトランプ遊び予測不可

老いの身を嘆くか今日も崩れ空

皇室の慶事多彩に拍手する

中井 極

憲法を変えては如何国のため

降ってくる槍より怖い狂い弾

老い方に基準点ないみんなマル

濱田 喜己

歳重ね歩みつつ知る老いの様

菜園で自然の摂理教えられ

悔しさへ礫ひとつを握りしめ 願法みつる

美しく咲く里山の人間味

家事一切に手は出さぬ良い亭主

課題 『おろおろ』

みつる選

正恩にオロオロもせぬ平和ボケ 堀内今一步

おろおろと逝く日分からぬ旅支度 中井 極

おろおろと心乱れて待つ手術 田所 健

遅れても人生穴が開くじゃなし 蜂巣 徹

為す術もなく日増しに老いていく 末田 洋一

さざ波に揺れ動くなよお国振り 濱田 喜己

エッ俺にインタビューなのドッキドキ 若松 靖夫

秀 飼い犬と妻の家出にうろたえる 谷井 修平
秀 忘れ物気づいた場所は汽車の中 佐原 利幸
秀 おろおろとただおろおろと卒寿なり 藤沼 智弘
軸 ゴキブリの群で生きてる大都会 願法みつる

「雑感 6」

先号に更に続いて福田案山子氏の作品を紹介します。

視覚障害でありながら、九十歳半ばで未だ作句意欲が旺盛な氏の作品を熟読して下さい。単に思い付いて吐いた十七音字ではありません。熟考の末の一句一句です。

川柳作句は自分の「心」が出发点です。「眼」ではありません。

課題「歌」

賛美歌を離れ演歌にはまってる

窓開けて月に聞かせる愛唱歌

課題「噂」

噂でもいいから恋がしてみたい

そよ風が運んでくれたいい噂

折句「うきな」

占いが吉と出ました悩みごと

疑いはきつと晴れると慰める

課題「選ぶ」

選びたい人はなかなか腰上げず

居酒屋で初入選の祝い酒

課題「駅」

夕映えの駅に温もり待っている
連休を迎える駅の里言葉

折句「エレキ」

栄達のレールに乗った今日の幸

栄冠の連続受ける菊日和

課題「音」

独り寝の窓に夜風が訪れる

復興の音が地軸を揺るがせる

課題「泳ぐ」

逆流を物ともしない義侠心

救援が来るまで耐える立ち泳ぎ

折句「おはこ」

お互いに反省をする黄金雲

穏やかな反論和議にこぎつける

百四十三号の課題は「からから」です。課題句二句と自由句三句をご投稿下さい。締切は八月末日です。